

MOZART

BERIO

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

天へ届け!

新時代の旗手マサトが振り、
世界最高峰の合唱団が歌う
究極の「レクイエム」

指揮 **鈴木 優人** (指揮者/クリエイティブ・パートナー)

Conductor **MASATO SUZUKI**

ベリオ:シンフォニア

ソリスト ベルリンRIAS室内合唱団メンバー

BERIO: SINFONIA
Soloists **RIAS Kammerchor**

モーツァルト:レクイエム 二短調 K. 626
(鈴木優人補筆校訂版)

ソプラノ ジョアン・ラン

メゾ・ソプラノ オリヴィア・フェアミュレン

テノール ニック・プリッチャード

バス ドミニク・ヴェルナー

合唱 **ベルリンRIAS室内合唱団**
(合唱指揮 ジャスティン・ドイル)

MOZART: REQUIEM in D minor, K. 626 (corrected and revised by M. Suzuki)
Soprano **JOANNE LUNN**, Mezzo Soprano **OLIVIA VERMEULEN**,
Tenor **NICK PRITCHARD**, Bass **DOMINIK WÖRNER**,
Chorus **RIAS Kammerchor** (Chorusmaster **JUSTIN DOYLE**)

読売日本交響楽団 第643回 定期演奏会

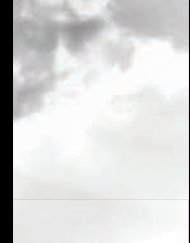
2024 **12.3** (火) 19:00 **サントリーホール**

S ¥10,000 A ¥8,000 B **SOLD OUT** C **SOLD OUT**

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

YNSO Subscription Concert No. 643

Tue. 3 Dec. 2024, 19:00 Suntory Hall



主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション、 GOETHE INSTITUT ゲーテ・インスティトゥート 協力:アフラック生命保険株式会社



クラシックと20世紀音楽で、今を問う！

マサトがベリオとモーツァルト作品を指揮

12月の《定期演奏会》は、指揮者／クリエイティブ・パートナーの鈴木優人が、20世紀音楽の重要作とされるベリオの「シンフォニア」とモーツァルトの傑作「レクイエム」の2曲を指揮する。「クラシック音楽を、現代にいかにかを表すか」と問う活動を展開しているマサトらしい、斬新なプログラムだ。

1968年に完成されたベリオの「シンフォニア」は、マーラーの交響曲第2番「復活」の第3楽章をメインに、バッハからシュトックハウゼンまでの多種多様な断片が用いられた独特な構造を持つもの。オーケストラと共にベルリンRIAS室内合唱団の8名の歌手が、マイクを通してスカットのような語りを展開する。ベケットやジョイス、レヴィ＝ストロースらの作品の一部やパリ5月革命のスローガンなどの歌詞が埋め込まれ、20世紀の混沌を表すかのような革新的なコラージュ作品となっている。現代作品も得意とするマサトの感性が光るはずだ。

ベリオ作品の余熱が残る中、後半に演奏するのはモーツァルトの最後の作品「レクイエム」。モーツァルトの死により未完のままに残され、弟子ジュスマイヤーによる補筆完成版を演奏することが一般的だが、今回はそれを基にした鈴木優人補筆校訂版を演奏する。優人版では、モーツァルトのもう一人の弟子アイブラーによるオーケストレーションも採用し、1960年に発見されたアーメン・フーガのスケッチに基づいた「アーメン」を追加するなどされている。世界最高峰の合唱団とされるベルリンRIAS室内合唱団が、透明度の高い、温かみのあるハーモニーを響かせ、4人の世界的歌手達と共に鮮烈な演奏を繰り広げるだろう。時代を超える普遍性を持つこの「死者への鎮魂歌」は、現代の人々の心の闇と光を映し出し、極めて美しい調べは私たちの心を揺さぶるはずだ。



指揮者／クリエイティブ・パートナー
鈴木 優人

マルチな才能で新時代を切り拓く気鋭。2020年4月から読響指揮者／クリエイティブ・パートナー。東京芸術大学および同大学院、オランダ・ハーグ王立音楽院修了。国内外の楽団を指揮し、鍵盤楽器奏者としても活躍。13年から調布国際音楽祭のエクゼクティブ・プロデューサー。18年にバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者に就任。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演中。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞など受賞多数。



ソプラノ
ジョアン・ラン

澄んだ歌声で聴衆を魅了し続けている英国を代表する歌手。バロック音楽を得意とし、レオンハルト、鈴木雅明、ミンコフスキ、ガーディナー、ノリントン、ピシヨラ名匠の指揮で、ロンドン響、ベルリン古楽アカデミー、コンチェルト・ケルン、バッハ・コレギウム・ジャパン、コンチェルト・コペンハーゲン、ロッテルダム・フィルなどと共演。CDも数多くリリース。



メゾ・ソプラノ
オリヴィア・フェアミュラー

柔らかな声質で国際的に評価を得ているメゾ。ヤノフスキ、ハーディング、ヤーコプス、ツァグロゼク、ネトピルらの指揮で、ベルリン国立歌劇場、パリ・オペラ座、チューリヒ歌劇場などに出演し、ベルリン・フィル、ロンドン・フィルなどの楽団と共演。22年12月には鈴木優人指揮、読響の「第九」でソロを歌い、好評を博した。

テノール **ニック・ブリッチャード**

J.S.バッハやモーツァルト作品で絶賛されている俊英。ルセ、エメリヤニチェフ、エガー、アイム、カーニン、ピシヨラらの指揮で、エイジ・オブ・エンライトメント管、アンサンブル・ビッグマリオン、レ・タラン・リリックなどと共演。21年8月、BBCプロムスにてベイツ指揮でモーツァルト「レクイエム」のソロを歌い、高い評価を得た。



©Nick James



バス **ドミニク・ヴェルナー**

「深遠なバス」と高く評価されている実力派。ライブツイヒ・バッハ・コンクール優勝。コワン、ヘンゲルブロック、リリック、ヘレヴェッヘ、鈴木雅明、S.クイケン、ホーネック、エラス＝カザドらの指揮で、ロイヤル・コンサート・ヘブウ管、ベルリン・ドイツ響、バンベルク響などと共演。世界各地のホール、国際音楽祭に出演している。



合唱
ベルリンRIAS室内合唱団

1948年にベルリンの米軍占領地区放送局(RIAS)のために設立された世界最高峰の合唱団。ルネサンス、バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを誇り、欧州各地で活躍。ヤーコプス、ラトル、ネゼ＝セガン、ヘンゲルブロックらの指揮で、数々の名演奏を築いている。グラモフォン賞、エコー賞などを受賞。読響とは2018年以來、6年ぶりに共演する。

©Oliver Look

読響日本交響楽団 第643回 定期演奏会

2024年 12月3日(火) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥10,000 / A ¥8,000 / B ~~¥5,000~~ / C ~~¥5,000~~

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ <https://yomikyoku.or.jp/>